

事務事業名	農村公園整備事業				担当	産業部 農政課 農村整備係		
政策名	E	地域と産業が調和する活力あるまちづくり			増補版施策名			
施策名	1	農業の振興			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成6年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
法令根拠								
予算科目	1. 一般会計	6. 農林水産業費	1. 農業費	6. 農地費				
事業概要	良好な地域環境とやすらぎの場を確保するために公園を整備し、整備された公園の良好な維持管理を図る。 【管理方法：地元住民による管理組合に年間委託】 1. 両沼公園 2. 西田井駅前公園 3. 堀内はたの里公園 4. 京の泉公園 5. 四季の里公園 6. せせらぎ公園 7. 宮川水辺公園 8. 三谷農村広場 9. 谷貝新田公園 10. 砂ヶ原西公園 【管理方法：シルバー人材センターに随時委託】 1. 大根田公園 2. 長沼西部農村公園 3. 下物井公園 4. 仏生寺公園 5. (両沼公園のトイレ清掃を年間委託) 【管理方法：定期巡回による点検、修繕】 遊具、ベンチ、トイレ、水道、外灯、植栽							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 29年度実績 ・定期巡回による点検、修繕及び放射線量測定 ・管理組合との年間委託契約と委託料支払 ・清掃、草刈りなどの業務委託契約と委託料支払 ・電気料、水道料の支払 ・大雨、台風後の異常点検 30年度計画 ・29年度同様 （H29より仏生寺公園管理を追加・・・H28までは、農業総務費-仏生寺公園環境整備事業費で管理）	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移								
	名称		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)	
	ア	管理組合委託金額	千円	1,600	1,800	1,800	1,800	1,584	
	イ	シルバー等委託	千円	629	690	605	2,005	2,875	
	ウ	修繕料	千円	112	472	448	211	275	
エ	需用費・その他	千円	973	1,569	1,465	1,811	1,884		
オ									
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 ・農村公園	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移								
	名称		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)	
	ア	農村公園数	箇所	11	13	13	14	14	
	イ								
	ウ								
エ									
オ									
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） ・公園機能の維持保全を図る ・利用者の安全を確保する	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移								
	名称		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)	
	ア	良好に管理された農村公園	箇所	11	13	13	14	14	
	イ								
	ウ								
エ									
オ									
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） ・農村の良好な生活環境の確保	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移								
	名称		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)	
	ア	市民が真岡市をきれいなまちと感じた割合	%	74.9	76.7	79.6	75.9	76.0	
	イ								
	ウ								
エ									
オ									
(2) 総事業費の推移									
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	3,314	4,531	4,318	5,825	6,618
	事業費計(A)			千円	3,314	4,531	4,318	5,825	6,618
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	140	140	140	140	140	
		人件費計(B)	千円	591	587	581	581	581	
	トータルコスト(A)+(B)			千円	3,905	5,118	4,899	6,406	7,199

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	圃場整備事業と合わせて公園を整備し、地域に根付いた公園とするため、地元の管理組合に、管理業務を委託することとなった。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	26年度までの農村公園の管理は、農政課と都市計画課両方の費用（特に需用費）で管理されていた。 27年度から、所管課に分別し管理している。 29年度より仏生寺公園管理を追加（H28までは、農業総務費-仏生寺公園環境整備事業費で管理していたものを一元管理）
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 農村公園の良好な維持管理は、活力に満ちた農村対策に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公共性の高い施設に対する事業であり妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 市が所有する農村公園に対する事業であり適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 良好に管理されているため、向上余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 公園が維持できない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 地元管理組合やシルバー人材センターへの委託料は最低金額である。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 委託契約事務以外は、月に1回の巡回で対応し、最低限の業務時間である。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 農村公園は、不特定多数の住民が自由に利用し、公平である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							